

No.	施設名(種類)	対象施設				
	担当課					
1	幼稚園	岸城幼稚園 浜幼稚園 朝陽幼稚園 東光幼稚園 旭幼稚園	太田幼稚園 天神山幼稚園 修斉幼稚園 東葛城幼稚園 春木幼稚園	大芝幼稚園 大宮幼稚園 城北幼稚園 八木北幼稚園 八木幼稚園	八木南幼稚園 新条幼稚園 光明幼稚園 常盤幼稚園 山直北幼稚園	城東幼稚園 山直南幼稚園 山滝幼稚園
	教育総務部総務課					
2	小学校	中央小学校 城内小学校 浜小学校 朝陽小学校 東光小学校	旭小学校 太田小学校 天神山小学校 修斉小学校 東葛城小学校	春木小学校 大芝小学校 大宮小学校 城北小学校 新条小学校	八木北小学校 八木小学校 八木南小学校 光明小学校 常盤小学校	山直北小学校 城東小学校 山直南小学校 山滝小学校
	教育総務部総務課					
3	中学校	岸城中学校(夜間含む) 光陽中学校 葛城中学校 久米田中学校	春木中学校 山滝中学校 山直中学校 北中学校	桜台中学校 野村中学校 土生中学校		
	教育総務部総務課					
4	高等学校 産業高校学務課	産業高等学校				
5	公民館等	葛城地区公民館 光陽地区公民館 山滝地区公民館 城北地区公民館 大芝地区公民館	葛城上地区公民館 光明地区公民館 新条地区公民館 天神山地区公民館 市立公民館・中央地区公民館	公民館分館 山直地区公民館 旭地区公民館 八木地区公民館 春木地区公民館・春木青少年会館	常盤地区公民館 久米田青少年会館 箕土路青少年会館 大宮青少年会館	
	生涯学習課					
6	図書館	図書館本館 山直図書館	春木図書館 旭図書館	八木図書館 桜台図書館		
	図書館					
7	体育館等	総合体育館 中央体育館	春木体育館 市民道場心技館			
	スポーツ振興課					
8	プール	野田プール 葛城プール 山滝プール	春木プール 朝陽プール 浜プール	今木プール 城北プール 山直北プール	八木北プール 桜台プール 太田プール	
	スポーツ振興課					
9	運動広場等	牛ノロ公園運動広場 久米田公園運動広場 葛城運動広場 春木運動広場 八木運動広場 春木台場青少年広場	菊ヶ池青少年広場 神楽目青少年広場 奥ノ池青少年広場 臨海青少年広場 鴨田池青少年広場 茂知谷青少年広場	大沢青少年広場 牛ノロ公園テニスコート 野田公園テニスコート 春木台場テニスコート 葛城テニスコート		
	スポーツ振興課					
10	きしわだ自然資料館 郷土文化室	きしわだ自然資料館				
11	ホール・会館	文化会館(マドカホール) 自泉会館 浪切ホール				
	文化国際課					
12	保育所等	浜保育所 千喜里保育所 大宮保育所 パピースクール	旭保育所 山直北保育所 春木保育所	城北保育所 城内保育所 八木北保育所	修斉保育所 桜台保育所 いながわ療育園	
	保育課					

No.	施設名(種類)	対象施設			
	担当課				
13	チビッコホーム	八木南チビッコホーム 八木北(第1・第2)チビッコホーム 城北(第1・第2)チビッコホーム 新条チビッコホーム 朝陽チビッコホーム	八木(第1・第2)チビッコホーム 城内(第1・第2)チビッコホーム 大芝(第1・第2)チビッコホーム 旭(第1・第2)チビッコホーム 天神山チビッコホーム	城東チビッコホーム 浜チビッコホーム 山直南チビッコホーム 光明(第1・第2)チビッコホーム 中央チビッコホーム	
	児童育成課	大宮(第1・第2)チビッコホーム 春木(第1・第2)チビッコホーム 常盤(第1・第2)チビッコホーム	東光(第1・第2)チビッコホーム 山直北(第1・第2)チビッコホーム 太田(第1・第2)チビッコホーム	修斉チビッコホーム 山滝チビッコホーム	
14	高齢者関連施設	福祉総合センター 高齢者ふれあいセンター朝陽 浜老人集会所			
	福祉政策課				
15	保健・福祉施設 障害者支援課	サン・アビリティーズ			
	保健・福祉施設 健康推進課	保健センター 小児初期救急広域センター			
16	観光施設	岸和田だんじり会館 牛滝温泉やすらぎ荘 五風荘	まちづくりの館 岸和田城 二の丸広場観光交流センター		
	観光課				
17	産業振興施設 産業政策課	産業会館 労働会館			
18	農業関連施設 農林水産課	大沢山荘			
19	駐車場	岸和田市営駐車場			
	観光課				
	駐車場 文化国際課	市営旧港地区立体駐車場			
20	自転車等駐車場	蛸地藏駅自転車等駐車場 春木駅西自転車等駐車場 春木駅東自転車等駐車場 和泉大宮駅東自転車等駐車場	久米田駅北自転車等駐車場 久米田駅南自転車等駐車場 下松駅自転車等駐車場 岸和田駅1号自転車等駐車場	岸和田駅2号自転車等駐車場 岸和田駅3号自転車等駐車場 岸和田駅4号自転車等駐車場	
	建設管理課				
21	女性センター 人権推進課	女性センター			
22	消費生活センター 自治振興課	消費生活センター			
23	斎場 市民課	斎場			
24	市民センター	東岸和田市民センター 山直市民センター 春木市民センター	八木市民センター 桜台市民センター		
	各市民センター				
25	公営住宅	野田町住宅 藤井町住宅 下野町住宅 松風住宅 桜ヶ丘住宅	松ヶ丘住宅 八木住宅 岡山住宅 上松住宅 山下住宅	神須屋住宅 あけぼの住宅 下池田住宅 五月ヶ丘住宅 尾生住宅	大宮住宅 岸野住宅 八幡住宅
	建築住宅課				
26	支所・ サービスセンター	山滝支所 東岸和田サービスセンター	山直サービスセンター 春木サービスセンター	八木サービスセンター 桜台サービスセンター	
	市民課				

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課	
1	幼稚園	教育総務部総務課	
対象施設			
岸城幼稚園	天神山幼稚園	城北幼稚園	常盤幼稚園
浜幼稚園	修斉幼稚園	八木北幼稚園	山直北幼稚園
朝陽幼稚園	東葛城幼稚園	八木幼稚園	城東幼稚園
東光幼稚園	春木幼稚園	八木南幼稚園	山直南幼稚園
旭幼稚園	大芝幼稚園	新条幼稚園	山滝幼稚園
太田幼稚園	大宮幼稚園	光明幼稚園	

将来計画	
将来の園児数の推移を踏まえ、子ども・子育て会議における3歳児枠の受入れ拡大についての効果検証を行い、幼小連携のための小学校と幼稚園の統合案などの総量削減策について検討し、今期の計画期間内で着手できるところから実施します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	3歳児受入れ6園。天神山幼稚園を小学校へ移転、園舎を新教育センターとして利用。
平成 29 年度	3歳児受入れ3園追加、計9園。総量削減策の検討。
平成 30 年度	3歳児受入れ7園追加、計16園。総量削減策の検討。
期待する主な効果	
・3歳児受入れ園については、子ども・子育て支援事業計画に基づいて、順次、拡大することで待機児童解消を図る。 ・天神山幼稚園・小学校で幼小一貫校のモデル校として平成28年度実施により、幼小の連携を更に深める。今後の幼小一貫については、天神山の検証を行いながら検討していく。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	3歳児受入れ6園で実施。 9月から天神山幼稚園は小学校へ移転し、幼小連携の取組みを行う。 来年1月から園舎を新教育センターとして利用。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	3歳児受入れ3園を追加。9月下旬に29年度申込み開始。 総量削減及び幼小一貫の検証。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
2	小学校	教育総務部総務課
対象施設		
中央小学校	太田小学校	大宮小学校
光明小学校	城内小学校	天神山小学校
常盤小学校	浜小学校	修斉小学校
山直北小学校	朝陽小学校	東葛城小学校
城東小学校	東光小学校	春木小学校
山直南小学校	旭小学校	大芝小学校
山滝小学校		八木南小学校

将来計画	
将来の児童数の推移により、今後は新たに余裕教室ができると見込まれます。幼小連携や小中一貫教育等による教育環境の充実を図りますが、同時に、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を踏まえ、小学校の適正規模実現を目指します。なお、余裕教室については、今後の需要を踏まえて活用策を検討しておきます。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	天神山小学校の余裕教室を幼稚園として活用。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き検討を進める。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き検討を進める。
期待する主な効果	
・教育環境の充実。 ・天神山幼稚園・小学校で幼小一貫校のモデル校として平成 28 年度実施により、幼小の連携を更に深める。今後の幼小一貫については、天神山の検証を行いながら検討していく。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	天神山小学校の余裕教室を幼稚園として活用。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	適正規模を踏まえ、余裕教室の活用の検討。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
3	中学校	教育総務部総務課
対象施設		
岸城中学校（夜間含む）	春木中学校	桜台中学校
光陽中学校	山滝中学校	野村中学校
葛城中学校	山直中学校	土生中学校
久米田中学校	北中学校	

将来計画	
将来の生徒数の推移により、今後は新たに余裕教室ができると見込まれます。小中一貫教育等による教育環境の充実を図りますが、同時に、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を踏まえ、中学校の適正規模実現を目指します。なお、余裕教室については、今後の需要を踏まえて活用策を検討しておきます。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	適正規模を踏まえ、余裕教室の活用の検討。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き検討を進める。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き検討を進める。
期待する主な効果	
・教育環境の充実。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	適正規模を踏まえ、余裕教室の活用の検討。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	適正規模を踏まえ、余裕教室の活用の検討。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
4	高等学校	産業高校学務課
対象施設		
産業高等学校		

将来計画	
高等学校に対するニーズは、なお大きいです。より充実した教育環境の整備も検討しつつ、今期計画期間内では、次期計画期間での実施に向け、維持管理コストとそれに見合う費用対効果についての検証を行い、今後の運営方法について決定します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	中学生に対しては広報活動に力を入れ定員を確保するよう努める。老朽化あるいは破損している設備の改修に向け、予算確保に努める。
平成 29 年度	前年度同様、教育環境の充実に努める。
平成 30 年度	前年度同様、教育環境の充実に努める。
期待する主な効果	
・市外在住の生徒が半数を占めている現状で、維持管理はすべて岸和田市負担である。 ・市内在住の中学生に多く入学してもらうことで、市税が充てられる維持管理コストとの費用対効果を高めることができる。 ・老朽化や破損している設備の改修により、教育環境の充実と施設の長寿命化を図ることができる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	市内在住の中学生に魅力を持ってもらうよう、校内・校外で開催する学校説明会でタブレットなどを用いて産業高校の特色をよりわかりやすく説明するとともに、ホームページでの情報発信に努めるなど中学生及びその保護者向けの広報活動に力を入れる。在校生に対しては、基礎・基本を重視した教育を行なうとともに就職に有利な資格取得を目指す取り組みを今以上に推し進め、地域社会に有為なる産業人を育成するという建学の精神を実践する。また、施設整備の面では老朽化あるいは破損している設備の改修に向け、予算確保に努める。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	前年度同様、産業高校の広報や老朽化対策に努める。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
5	公民館等	生涯学習課
対象施設		
葛城地区公民館	葛城上地区公民館	公民館分館
光陽地区公民館	光明地区公民館	山直地区公民館
山滝地区公民館	新条地区公民館	旭地区公民館
城北地区公民館	天神山地区公民館	八木地区公民館
大芝地区公民館	市立公民館・中央地区公民館	春木地区公民館・春木青少年会館
		常盤地区公民館
		久米田青少年会館
		箕土路青少年会館
		大宮青少年会館

将来計画	
社会教育法に規定の公民館の用途制限緩和について検討し、地域コミュニティの活動施設としての位置付け変更とともに、新たに位置付けられる拠点施設に現機能を集約します。また、エリア内の人口密度等を勘案して、なおエリア内に施設が必要な場合においては、拠点施設以外で補完施設としての位置付けが必要かどうかともあわせて検討していきます。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	社会教育法の規定に基づく、公民館等貸館基準について検討を行っている。また、大宮青少年会館の周辺施設との複合化の実現に向け、検討している。
平成 29 年度	社会教育法の規定に基づく、新たな公民館等貸館基準について試行していく。大宮青少年会館の複合化への取り組みを関係課と調整していく。
平成 30 年度	公民館等の新たな貸館基準について取り組んでいく。また、大宮青少年会館の複合化を実施する。
期待する主な効果	
・ 新たな公民館等の貸館基準においては、より幅広い利用者層が期待され、収支改善も図られる。 ・ 複合化できると、他施設との連携が図られ、相乗効果でより講座の充実が期待できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	現行の制度においても、公民館等の貸館についての柔軟な考え方は適用できる。また、大宮青少年会館との複合化に向けては、さまざまな利用団体があり、引き続き協議を行っていく。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	新たな公民館等の貸館基準については運用による問題点を改善しながら、試行を行っていく。また、複合化後の大宮青少年会館については現行の委託制度を踏まえて、よりよい方法を考察し、遅滞なく運用できるよう検討を行う。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
6	図書館	図書館
対象施設		
図書館本館	春木図書館	八木図書館
山直図書館	旭図書館	桜台図書館

将来計画	
本館と5つの分館、各々が配置されている役割を検証します。また、社会教育施設としての役割を重視し、社会福祉団体や学校、公民館等との連携を図ります。なお、管理運営については、指定管理による管理運営方法など、広く民間活用の導入を検討します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	管理運営について、平成 29 年度から本館の自動車文庫業務を、平成 30 年度から5分館の窓口等業務を委託化し民間活用を導入する。そのための業者選定業務を実施する。
平成 29 年度	本館の自動車文庫業務の委託化を実施する。
平成 30 年度	旭図書館、山直図書館、春木図書館、八木図書館及び桜台図書館の窓口等業務の委託化を実施する。
期待する主な効果	
・図書館業務を委託化することにより、自動車文庫業務については、業務の安定的な運営が、分館窓口等業務の委託については、祝休日開館、また、旭図書館・春木図書館については、平日開館時間を延長し市民サービスの向上に資することが期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	本館の自動車文庫業務及び5分館の窓口等業務を委託化するための業者選定を行っている。 社会教育施設として、絵本の配本による幼稚園との連携を検討する。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	本館の自動車文庫業務を委託化する。また、旭図書館、山直図書館、春木図書館、八木図書館及び桜台図書館の窓口等業務の委託化を準備する。 本館については、平成 27 年度に耐震補強外工事を実施していることから、当面は現建物を使用しつつ、中期的な課題として、市全体の公共施設のあり方（F M）の中で検討を行う。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
7	体育館等	スポーツ振興課
対象施設		
総合体育館	中央体育館	春木体育館
		市民道場心技館

将来計画	
全市域的施設で各種大会の開催できる規模の総合体育館と、市民の日常的な運動目的が主体の市民体育館との機能の棲み分けを検証した上で、市民体育館の機能を中央体育館に位置付け、春木体育館については施設の存廃について検討します。心技館については、武道競技に広く利用されているため、機能集約による他施設との複合化を検討します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	スポーツ推進計画の策定にあたってのアンケートの中で、市民の利用状況を調査する。
平成 29 年度	市民体育館耐震化について検討する。
平成 30 年度	心技館の指定管理が平成 32 年度末に満了になるため、施設のあり方について検討し、公募の有無を検討する。 春木体育館については、市民アンケートの結果を踏まえ存廃の方向性について検討する。
期待する主な効果	
春木体育館については、他施設との機能集約により維持管理のコスト削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	スポーツ推進計画の策定の中で施設のあり方について検討する。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	市民アンケートの結果を踏まえ施設の機能やあり方について、スポーツ推進計画の策定を行う。 市民体育館の機能や施設のあり方について関係課と協議を行う。 総合体育館と市民体育館の指定管理について関係課と協議を行う。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
8	プール	スポーツ振興課
対象施設		
野田プール	朝陽プール	山直北プール
葛城プール	浜プール	八木北プール
山滝プール	今木プール	桜台プール
春木プール	城北プール	太田プール

将来計画	
市内には民間事業者が運営する施設もあることから、今期の計画期間内では市直営と民営での維持管理費を比較検証し、得られた効果を勘案して、より有利な維持管理となる運営方法を実施します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	スポーツ推進計画の策定にあたってのアンケートの中で、市民の利用状況を調査する。 平成 28 年度の利用人数、歳入や歳出（維持管理費）等について集計を作成する。
平成 29 年度	民間事業者が管理するにあたっての問題点の整理を行う。 民間事業者が管理した場合維持管理費の見積りをとる。
平成 30 年度	民営での維持管理の可否を決定する。
期待する主な効果	
・ 民間管理になることで、施設の魅力の向上及び発信力の強化が期待される。 ・ 施設の維持管理の歳出削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	スポーツ推進計画の策定の中で施設のあり方について検討する。 市民の利用状況を調査する。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	民間事業者が管理するにあたっての問題点の整理を行う。 民間事業者が管理した場合維持管理費の見積りをとる。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
9	運動広場等	スポーツ振興課
対象施設		
牛ノ口公園運動広場	菊ヶ池青少年広場	大沢青少年広場
久米田公園運動広場	神楽目青少年広場	牛ノ口公園テニスコート
葛城運動広場	奥ノ池青少年広場	野田公園テニスコート
春木運動広場	臨海青少年広場	春木台場テニスコート
八木運動広場	鴨田池青少年広場	葛城テニスコート
春木台場青少年広場	茂知谷青少年広場	

将来計画	
青少年広場の運営方法については、管理運営を地元町会等に委ねられている現状から地元からの利活用の提案を求め、地元町会等へ無償貸与すること等、引き続き管理運営を委ねていきます。なお、有償借地については、その必要性を検証し、賃借関係解消の可否を決定します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	運動広場及び青少年広場の運営方法、利用等の現状を把握する。
平成 29 年度	青少年広場に関し、地元町会等への無償貸与について検討し、また有償借地の必要性を検証する。
平成 30 年度	引き続き、検討・検証を実施する。
期待する主な効果	
・管理運営側、利用者側に関する基準を定めることにより、双方の円滑な維持管理が可能になる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	現状の運営方法と利用実態を調査していく。 管理及び利用に関する基準を定め、該当する地元町会等へ周知していく。 スポーツ推進計画の策定の中で施設のあり方について検討する。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	青少年広場に関し、地元町会等への無償貸与について検討し、また有償借地の必要性を検証する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
10	きしわだ自然資料館	郷土文化室
対象施設		
きしわだ自然資料館		

将来計画	
管理運営について、指定管理による管理運営方法など民間事業者による創意工夫を活かし、さらなる魅力ある施設づくりを実現します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	施設の維持管理における業務委託の効率化について、近隣類似施設の状況調査を行う。学芸業務については、その特性を勘案した結果、市直営での実施を続けることとする。
平成 29 年度	施設の維持管理における業務委託の効率化について、その方策の検討を行う。
平成 30 年度	施設の維持管理における業務委託の効率化について、その方策を実施するかどうか決定する。
期待する主な効果	
・ 自然資料館の管理に係る市の歳出削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	施設の維持管理における業務委託の効率化については、近隣類似施設に状況を確認するヒアリング調査を行っている。展示や調査・研究、普及行事等、自然資料館の設置目的達成のために実施している学芸業務については、それらを長年にわたり担ってきた学芸員をすでに擁し、民間事業者も含めた関係諸機関との信頼関係に基づく連携事業も頻繁に実施していることを勘案した結果、市の直営で実施し続けることが適切だと考えている。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	施設の維持管理における業務委託の効率化について、事業者からのヒアリングも含め具体的な方策の検討を行う。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
11	ホール・会館	文化国際課
対象施設		
文化会館（マドカホール） 自泉会館 浪切ホール		

将来計画	
浪切ホールについては、次期計画期間での民営化の可能性を検討します。文化会館については文化振興条例における文化の発信拠点として市が担う役割を踏まえつつ、指定管理など民間活力導入の可能性を検討します。自泉会館は、文化的価値があり、城周辺の活性化を図る施設として観光資源にも寄与し、魅力ある施設づくりを実現します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	浪切ホールについては、新指定管理者による運営の安定化を図る。文化会館・自泉会館については、文化振興計画の推進に合わせて、適切な施設管理を検討する。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き安定した施設運営を図り、検討を進める。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き安定した施設運営を図り、検討を進める。
期待する主な効果	
・浪切ホールについては、指定管理による民間活力の導入により、施設の魅力の向上及び発信力を高めることが期待される。また、継続性のある施設管理のノウハウから、多額になると予想される施設の更新及び修繕等にかかる市の歳出の抑制が期待できる。 ・文化会館と自泉会館については、民間活力導入の内容によっては魅力ある施設づくりが期待できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	浪切ホールについては、新指定管理者 1 年目であり、6 年の期間があることから、運営の安定化を進めながら、民間活力導入による効率的な維持管理の可能性について検討する。文化会館については、文化施策推進の拠点として文化振興計画に位置付けられていることから、文化振興計画の進行に合わせ、適切な施設管理のあり方を検討する。自泉会館については、市民団体である岸和田文化事業協会が指定管理者となっていることから、魅力ある施設づくりについて、協議を進める。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	前年度同様、引き続き検討を進める。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
12	保育所等	保育課
対象施設		
浜保育所	春木保育所	修斉保育所
千喜里保育所	城北保育所	桜台保育所
大宮保育所	城内保育所	いながわ療育園
旭保育所	八木北保育所	パピースクール
山直北保育所		

将来計画	
これまで実施した民営化の効果について検証するとともに、『岸和田市子ども・子育て支援事業計画』に基づく施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	いながわ療育園とパピースクールの施設については、新福祉総合センターへの複合化に向けて関係課と調整を行う。
平成 29 年度	いながわ療育園とパピースクールの施設については、新福祉総合センターへの複合化による移転のため廃止となる。
平成 30 年度	定員の見直しや施設の老朽化対策を行い待機児童解消に努める。
期待する主な効果	
いながわ療育園・パピースクール - 施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減が期待される。 - 類似機能の統廃合により効率的な施設運営が期待される。 - 施設移転により南海トラフ地震に伴い発生する津波被害や建物倒壊の危険性が軽減される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	新福祉総合センター内の利用できるスペースが限られているため、より効果的な施設の活用に向けて、保育課・保育所と関係課で協議を行っている。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	パピースクールの施設については、新福祉総合センターへの移転後に解体されるが、いながわ療育園の施設の跡地利用については検討が必要となる。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
13	チビッコホーム	児童育成課
対象施設		
八木南チビッコホーム	天神山チビッコホーム	
八木北（第1・第2）チビッコホーム	東光（第1・第2）チビッコホーム	
城北（第1・第2）チビッコホーム	山直北（第1・第2）チビッコホーム	
新条チビッコホーム	太田（第1・第2）チビッコホーム	
朝陽チビッコホーム	城東チビッコホーム	
大宮（第1・第2）チビッコホーム	浜チビッコホーム	
春木（第1・第2）チビッコホーム	山直南チビッコホーム	
常盤（第1・第2）チビッコホーム	光明（第1・第2）チビッコホーム	
八木（第1・第2）チビッコホーム	中央チビッコホーム	
城内（第1・第2）チビッコホーム	修斉チビッコホーム	
大芝（第1・第2）チビッコホーム	山滝チビッコホーム	
旭（第1・第2）チビッコホーム		

将来計画	
『岸和田市子ども・子育て支援事業計画』に基づき、小学校の余裕教室等の活用や民間事業者への委託も踏まえ、児童の受け入れ体制の強化を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	朝陽チビッコホーム、新条チビッコホームにて、小学校の余裕教室を利用し夏期臨時チビッコホームを開設。
平成 29 年度	4 月より、新条第 2 チビッコホームを開設予定。
平成 30 年度	待機児童解消に向け、増設ホームの開設を検討。
期待する主な効果	
・待機児童の減少が期待される。また、小学校の余裕教室等の有効活用が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	朝陽チビッコホーム、新条チビッコホームにて、小学校の特別教室を利用し夏期臨時チビッコホームを開設した。平成 29 年 4 月からの新条第 2 チビッコホームの新規開設に向けて調整協議中。

来年度の実施予定	
平成 29 年度	小学校の余裕教室等の活用や民間事業者への委託も踏まえ、引き続き待機児童の解消に向けて取り組む予定。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
14	高齢者関連施設	福祉政策課
対象施設		
福祉総合センター 高齢者ふれあいセンター朝陽 浜老人集会所		

将来計画	
高齢者ふれあいセンター朝陽、浜老人集会所については、施設に位置付けられている機能を整理し、各地域にのみ存在している意義を検証した上で、福祉総合センターや近隣の公民館等との機能集約を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	福祉総合センター 福祉総合センター建て替え工事の進捗管理、指定管理・受益者負担のあり方の検討（予定） 高齢者ふれあいセンター朝陽 類似機能について部分的な機能集約が可能かどうか検討 浜老人集会所 次期指定管理期間に向け、管理運用方法について検討
平成 29 年度	福祉総合センター 前年度同様 高齢者ふれあいセンター朝陽 前年度同様 浜老人集会所 前年度同様
平成 30 年度	福祉総合センター 特になし 高齢者ふれあいセンター朝陽 機能集約等についての利用者アンケート（予定） 指定管理者との協議（予定） 浜老人集会所 機能集約等についての利用者アンケート（予定） 指定管理者との協議（予定）
期待する主な効果	
・類似機能の統廃合により、効率的な施設運営や、維持管理及び更新にかかる市の歳出削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	福祉総合センター 施設の著しい老朽化に伴う建て替えを契機に、障害児の総合的な通園施設設置の実現、類似施設機能を有する施設の統合及び各施設の老朽化への対応のため、現パピースクール、いながわ療育園及びサン・アビリティーズ（勤労者・障害者教養文化体育施設）を同センター内に複合化すべく、平成 29 年度の夏頃開所に向けて建て替え作業を行っている。 高齢者ふれあいセンター朝陽 高齢者ふれあいセンター朝陽は、高齢者の社会参加及び生きがいつくり推進のほか、地域の保健福祉活動の活性化を図ることを目的としている。 事業としては、館利用者と職員が地区市民協や地区福祉委員会へ参加したり、CSWが地域の福祉的課題の相談受理や解決にあたるなど、地域の福祉向上に向けてより地域と密着した活動を行っているが、福祉総合センターの事業と似通っている部分もある。 よって、福祉総合センターの建て替え後の施設の運用方法やキャパシティ等については現段階では不確定部分が多いため、次年度以降、類似機能などについて部分的な機能集約が可能であるか等の検討を行う。 浜老人集会所 浜老人集会所は、老人クラブ活動の促進と老人福祉の増進に資することを目的としていること及び校区に集会機能を有する公共施設がないことから、校区の活動に必須となっている。なお、現指定管理期間が平成 30 年度までとなっており、指定管理期間中の施設の運用変更等は、当該地域の活動に大きな支障を来すこととなるため、次期指定管理期間において運用変更が可能か等の検討を行う。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	引き続き、福祉総合センター建て替え工事の進捗管理、指定管理・受益者負担のあり方の検討、現指定管理者との協議等を進める。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
15	保健・福祉施設	障害者支援課
対象施設		
勤労者・障害者教養文化体育施設（サン・アビリティーズ）		

将来計画	
保健センターの機能を整理し、センター内にある各種団体の事務所等の必要性を検証した上で、他の機能との複合化の可能性を検討しておきます。メディカルセンターの管理運営については、施設の維持管理について負担割合を検証の上、市の関与度を整理します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	新福祉センターに障害者の機能回復、維持のための体育機能が移転後、残る施設の有効活用策について検討する。
平成 29 年度	機能移転後、サン・アビリティーズとしての施設は供用廃止する。
平成 30 年度	新施設として供用開始する。
期待する主な効果	
・ソフト面では、新福祉センターに機能移転することにより、市の総合的な福祉施策（高齢福祉、障害福祉、総合通園センターとの連携）が、ひとつの施設で実現できる。 ・ハード面では、機能移転後の施設を有効活用できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	新福祉センターに障害者の機能回復、維持のための体育機能を移転させるための、課題整理を行っている。なお、残る施設の有効活用策についても検討しており、現施設が地域のコミュニティ活動にも寄与していることから、新たにその機能も踏まえた施設として再整備する。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	機能移転後、サン・アビリティーズとしての施設は供用廃止するが、平成 30 年度には新たな施設として供用開始する予定のため、管理運営について関係部署、利用者等と協議を継続する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
15	保健・福祉施設	健康推進課
対象施設		
保健センター 小児初期救急広域センター		

将来計画	
保健センターの機能を整理し、センター内にある各種団体の事務所等の必要性を検証した上で、他の機能との複合化の可能性を検討しておきます。メディカルセンターの管理運営については、施設の維持管理について負担割合を検証の上、市の関与度を整理します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	保健センター内の各種団体事務所の必要性と費用負担を検証。 メディカルセンターは、今後の施設のあり方について検討を行う。
平成 29 年度	保健センター内の各種団体事務所の必要性と費用負担について協議。 メディカルセンターは、施設のあり方について、関係団体との協議を行う。また、協議を通じ市の関与度について明確化する。
平成 30 年度	保健センター内の各種団体事務所の必要性の可否について決定する。 メディカルセンターは、関係団体との協議結果を踏まえ、市の関与度に応じた対策を決定する。
期待する主な効果	
・保健センター内の事業に関わる機能の整理により施設の効果的な活用が期待される。 ・メディカルセンターは、負担割合の明確化により市の関与度に応じた効率的な運営が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	保健センターの運営費用を見直し、各種団体事務所の費用負担について更なる検証を行う。また、各種団体事務所の必要性について検証する。 メディカルセンターにおいては、耐震判断を踏まえ、負担割合の明確化により市の関与度を検証。建替え、移転等様々な角度での検討を行う。

来年度 of 取組予定	
平成 29 年度	保健センターの運営費用の負担割合について各種団体と協議。また、各種団体事務所の必要性について関係団体も含め、協議を行う。 メディカルセンターにおいては、今後の施設のあり方について、関係団体との協議を行う。また、協議を通じ市の関与度について明確化する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
16	観光施設	観光課
対象施設		
岸和田だんじり会館 牛滝温泉やすらぎ荘 五風荘 まちづくりの館 岸和田城 二の丸広場観光交流センター		

将来計画	
観光施設は、指定管理を導入して民間活力を図っており、現状のまま管理運営を継続させます。まちづくりの館の貸室機能については、行われている事業内容を勘案し、近隣の公民館等との役割分担を明確にします。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	牛滝温泉やすらぎ荘については老朽化が顕著であり、現指定管理期間（平成 30 年度）満了後の施設改修について、方策を検討する。
平成 29 年度	牛滝温泉やすらぎ荘における施設改修計画を、関係機関と協議し策定する。
平成 30 年度	牛滝温泉やすらぎ荘における施設改修予算を計上する。
期待する主な効果	
- 施設の健全性回復。 - 次期指定管理期間における提案事業者の確保。 - 魅力の向上による利用者増及び歳入増。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	指定管理事業者により円滑に運営されている。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	指定管理事業者により円滑な施設運営がなされるよう、連絡・調整を引き続き実施する。 牛滝温泉やすらぎ荘においては、次期指定管理者に事業継承できるよう、施設の健全性回復及び魅力向上を図るための施設改修計画を策定する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
17	産業振興施設	産業政策課
対象施設		
産業会館 労働会館		

将来計画	
産業会館の維持管理について、会館内の本市の執務スペースの持ち方を検証し、維持管理体制の見直しを図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	貸室の稼働率の上昇を図り、また、施設の設置目的に沿った活用へ取り組んでいる。
平成 29 年度	空調等の老朽化が目立つため、新しい空調システムの導入について、建物共有者の岸和田商工会議所と協議する。
平成 30 年度	新しい空調システムの導入を実施する。
期待する主な効果	
・市内事業者のための会議等の場として活用され、市内産業活性化への寄与が期待される。 ・新しい空調システムを導入することで、空調に係るコストの削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	産業会館については、貸室利用数の増加への取り組みや、共有スペース等の活用について、指定管理者である岸和田商工会議所と協議している。前年度と比較すると稼働率は上がっており、また、市内産業物産を展示したショーケースの設置について協議している。 また、労働会館については、平成 27 年度末に廃止を行った。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	引き続き、貸室の稼働率の上昇へ取り組む。 新しい空調システムの導入の検討を行う。 施設、設備の老朽化が目立つが、避難所に指定されているため、必要に応じて修繕を行っていく。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
18	農業関連施設	農林水産課
対象施設		
大沢山荘		

将来計画	
地域のコミュニティ活動の拠点施設として位置付け、地元地域が主体的に運営できるよう地元町会等に管理運営を委ねることとし、その運営方法を検討します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	施設の位置づけを地元町会等と協議を行う。 利用者数の増加に向けた方策の検討を行う。
平成 29 年度	近年、参加者数の増加が若干あるので、更に、指定管理施設としての利用の多様化と利用率の向上を具体的に検討する。
平成 30 年度	平成 32 年度まで大沢町会と指定管理協定を締結しているが、平成 33 年度以降指定管理を継続するか協議する。また、近隣に他の公共施設は無く、さらに地元利用者がほとんどであるため、地域のコミュニティ施設としての位置付けを明確にし、地元が主体的に活用できるよう維持管理を地元へ移管できるか運営方法を検討する。
期待する主な効果	
・地元へ施設の維持管理及び更新を移管することで、市の歳出削減が期待される。 ・地域のコミュニティ施設に特化できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	現在、市と指定管理者（地元町会）は、施設の今後の位置付けと方向性は協議していないので、今後、利用者の増加に向けた方策も含め、検討する。（予定）

来年度の取組予定	
平成 29 年度	利用者数の増加に向けて取り組みを行う。 地元でとれた食材を利用し、調理室を利用した料理教室を検討し、また、近年では、小学校の遠足に、雨天時以外の利用やイベント参加者数の増加が若干あるので、いよやかの郷温泉と提携して、キャンプや宿泊施設として利用するなど、指定管理施設としての利用の多様化と利用率の向上を具体的に検討する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
19	駐車場	文化国際課
対象施設		
岸和田市営旧港地区立体駐車場		

将来計画	
現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	指定管理による浪切ホールとの一体運営のため、合わせて検討する。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
期待する主な効果	
・ 実質的に浪切ホールの附属駐車場であり、浪切ホールとの一体運営による維持管理の効率化を図る。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	浪切ホール同様、新指定管理者による管理の安定化を進める。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	前年度同様、引き続き安定した管理運営を進める。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
19	駐車場	観光課
対象施設		
岸和田市営駐車場		

将来計画	
現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	岸和田城周辺の観光情報を旅行事業者等に積極的に発信し、利用の促進を図る。
平成 29 年度	引き続き、利用促進に向けた取り組みを実施する。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き利用促進に向けた施策の充実を図る。
期待する主な効果	
・ 駐車場の利用促進を図ることによって、利用者数が増加するとともに、岸和田城や岸和田だんじり会館といった岸和田城周辺の観光施設等の賑わいの創出が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	指定管理事業者により円滑に運営されている。 駐車車輛の的確な誘導・案内を行い事故防止に努めるとともに、周辺マップを配架するなど、観光案内を行い、サービス水準の向上を図っている。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	引き続き、指定管理事業者による円滑な施設運営がなされるよう、連絡・調整行い、利用促進に向けた取り組みを検討していく。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
20	自転車等駐車場	建設管理課
対象施設		
蛸地蔵駅自転車等駐車場	下松駅自転車等駐車場	
春木駅西自転車等駐車場	岸和田駅 1 号自転車等駐車場	
春木駅東自転車等駐車場	岸和田駅 2 号自転車等駐車場	
和泉大宮駅東自転車等駐車場	岸和田駅 3 号自転車等駐車場	
久米田駅北自転車等駐車場	岸和田駅 4 号自転車等駐車場	
久米田駅南自転車等駐車場		

将来計画	
現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	既施設については指定管理者制度を活用し、効率的な施設運営を実施する。 また東岸和田駅自転車等駐車場（仮称）の計画・設計を行う。
平成 29 年度	既施設については指定管理者制度を活用し、効率的な施設運営を実施する。 また東岸和田駅自転車等駐車場（仮称）の整備工事を行う。
平成 30 年度	既施設については指定管理者制度を活用し、効率的な施設運営を実施する。 また東岸和田駅自転車等駐車場（仮称）を開設する。
期待する主な効果	
- 施設利用者数の確保につながる。 - 東岸和田駅利用者の利便性を向上させるとともに駅周辺の駐輪秩序を向上させる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	各施設の自主点検を実施した。 自転車駐車場の計画・設計業務委託を行う。

来年度の実行予定	
平成 29 年度	東岸和田駅自転車等駐車場の整備工事を実施する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
21	女性センター	人権推進課
対象施設		
女性センター		

将来計画	
事業の効果的な推進を目指し、他施設との連携を図るため、周辺施設と複合化を検討します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	男女共同参画事業のさらなる推進と、施設の老朽化を解決させるための方策を検討する。
平成 29 年度	方策を実現させるため、課題解決について関係部署、利用者等との協議を継続する。
平成 30 年度	課題の抽出や事業の取組推進についての検討を踏まえ、実施する。
期待する主な効果	
・他施設との機能連携により、男女共同参画事業の推進と強化が図れる。 ・施設の老朽化が進んでいることから、他施設への機能移転により施設強度が確保できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	機能移転後のサン・アビリティーズを再整備し、女性センターの持つ機能をすべて移転する。女性センターの機能は本市で唯一のものであるため、移転後は拠点施設として位置付け、事業推進と強化に向けて体制を整え、ハード面の整備を行う。 方策の実現に向け、関係部署、利用者等と協議を行う。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	管理運営について関係部署、利用者等と協議を継続する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
22	消費生活センター	自治振興課
対象施設		
消費生活センター		

将来計画	
現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図る。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
期待する主な効果	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図り、現状の管理運営を継続させた。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
23	斎場	市民課
対象施設		
斎場		

将来計画	
建替えについては、PFI をはじめとする民間活力の導入により、管理運営方法を含めた民間事業者による創意工夫を活かした施設づくりを実現します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	斎場の建替えに関する基本構想を策定。
平成 29 年度	建替えについての庁内決定に基づき作業を行う。
平成 30 年度	建替えについての庁内決定に基づき作業を行う。
期待する主な効果	
・火葬業務の安全性の向上が期待される。 ・事業手法により、施設の維持管理にかかる市の歳出削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	庁内検討会議を開催し、基本構想を策定する（予定）。 基本構想の中で、建替えの必要性や管理運営方法についても検討を行う（予定）。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	基本構想を基に建替えに着手すべきか否かを管理運営方法を含め検討し、建替えに関する庁内合意を目指す。 合意内容に従い作業を進める。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
24	市民センター	各市民センター
対象施設		
東岸和田市民センター 桜台市民センター	山直市民センター 八木市民センター	春木市民センター

将来計画	
現状の課題等を検証し、引き続き施策の充実を図ります。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	安心安全な施設としての維持管理及び施設の長寿命化を行い、施策の充実を図る。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き施策の充実を図る。
期待する主な効果	
・老朽化や破損している設備の修繕により、施策の充実と施設の長寿命化を図ることができる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	地域の拠点として、また、避難所でもあることから、安心安全な施設としての維持管理及び施設の長寿命化を行う。また、山直市民センターにおいては、エネルギー使用量の抑制などに努め、老朽化や破損している設備については修繕を進めていく。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	前年度同様、老朽化対策などに努め、必要に応じて各市民センターにおける現状の課題等を検証する。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
25	公営住宅	建築住宅課
対象施設		
野田町住宅	八木住宅	下池田住宅
藤井町住宅	岡山住宅	五月ヶ丘住宅
下野町住宅	上松住宅	尾生住宅
松風住宅	山下住宅	大宮住宅
桜ヶ丘住宅	神須屋住宅	岸野住宅
松ヶ丘住宅	あけぼの住宅	八幡住宅

将来計画	
市営住宅は、現状の課題等を検証し、引き続き現状の維持管理を継続しますが、木造住宅については、現地建替えではなく耐火住宅への住み替えを促進し、また、その他施設についても民間住宅の有効活用を図り、施設の改善を効果的に進めていきます。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	老朽化を踏まえつつ、山下、上松、神須屋住宅を集約し建替えの検討（基本設計）
平成 29 年度	実施設計を行う予定。 大宮住宅と岸野住宅の建替えについて、直営やPFIなど手法の検討。
平成 30 年度	上松・山下住宅（仮称）着工予定。
期待する主な効果	
・老朽化した木造住宅の維持管理費の削減が期待できる。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	地域住民の意見を収集するため意見交換会を行っている。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	山下、上松、神須屋住宅の集約建替えの際に、他の木造入居者に対し、民間住宅の借上げなど検討し、住替えを促進させていく。

岸和田市公共施設最適化計画 進行管理シート

No.	種類	担当課
26	支所・サービスセンター	市民課
対象施設		
山滝支所	春木サービスセンター	
東岸和田サービスセンター	八木サービスセンター	
山直サービスセンター	桜台サービスセンター	

将来計画	
支所については、生活圏の整理とあわせ、他施設との機能統合について検討します。	
単年度ごとのスケジュール	
平成 28 年度	他施設との機能統合について検討を行う。
平成 29 年度	前年度同様、引き続き検討を行う。
平成 30 年度	前年度同様、引き続き検討を行う。
期待する主な効果	
山滝支所が機能統合された場合に維持管理費のコスト削減が期待される。	

取組状況		
平成 28 年度	進捗状況	内容
	計画通りに進んでいる	各種証明の発行件数や各種申請件数を基に、地元との設置の経過を踏まえ将来的な山滝支所のあり方を検討するためニーズの把握を行う。

来年度の取組予定	
平成 29 年度	公共施設最適化計画の山手地域の拠点施設の整理と、平成 29 年度よりコンビニ交付を開始したその影響度とあわせ検討を行う。